

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 こどもプラッツ推進事業

| | | | |
|-------|-------------|---------------|---------------|
| | H28年度予算額 | (参考) H27年度決算額 | (参考) H26年度決算額 |
| 事業費 | 90,000,000円 | 70,000,000円 | 24,961,593円 |
| 利用料歳入 | 28,500,000円 | 19,032,000円 | 4,785,000円 |

事業評価チェック表

| | |
|----------------------------|--|
| P L A N | <ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 就労者世帯等の子育て支援として、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動場所の確保を図る。 ねらい <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブ(学童クラブ)を補完する事により、待機児童の解消に寄与する。 運営スタッフは地域の人材を活用し「地域のこどもは地域で育てる」を実践する場として、地域力の向上にも役立っている。 一人親世帯や多子世帯の児童を優先的に受け入れることで、経済的な負担の軽減になっている。 予算 平成27年度当初予算 70,000,000円 |
|----------------------------|--|

| | |
|----------------|--|
| D O | <ul style="list-style-type: none"> 事業実績 平成26年度から新規事業として市内小学校の余裕教室等を借用して開設。 平成26年度: 11小学校、当初児童数126名(実績: 132名) 平成27年度: 19小学校(8校増)、当初児童数490名(実績: 507名) 平成28年度: 20小学校(1校増)、当初児童数916名 開設日: 平日は月曜日～金曜日の放課後～午後5時45分まで 長期休業中は月曜日～金曜日の午前8時30分から午後5時45分まで 対象児童: 開設小学校に通う就労者世帯の全ての小学生 利用料金: 月額3,000円(8月のみ5,000円) |
|----------------|--|

| C H E C K | 評価項目 | 評価基準(概要欄の○) | 評価点 | 評価コメント |
|----------------------------------|---------------------|-----------------|-----------|---|
| | 必要性 (市民ニーズ) | きわめて必要性が高い(20点) | | 15 |
| 必要性が高い(15点) | | ○ | | |
| どちらかと言えば必要性がある(10点) | | | | |
| 必要性が低い(5点) | | | | |
| 公共性 (市で行わなければならないか) | 市が行わないといけない(20点) | | 15 | 市が行うことにより、空き教室を使用した低料金での実施が可能となり、公共性が高い。一方、補完事業という性質から、放課後児童クラブと同様に民間での実施も検討の余地を残す。 |
| | 公共性が高い(15点) | ○ | | |
| | どちらかと言えば市が実施(10点) | | | |
| | 公共性が低い(5点) | | | |
| 費用対効果 (コストに見合った成果があるか) | きわめて効果的である(20点) | | 15 | 多数の子どもたちの安全安心が確保され、指導に従事する地域住民の健康や生き甲斐の増進にも寄与し、地域力向上のみならず副次的な有用性もみせ、効果的な事業である。 |
| | 効果的である(15点) | ○ | | |
| | どちらかと言えば効果的(10点) | | | |
| | どちらかと言えば非効果的(5点) | | | |
| 優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか) | きわめて優先性が高い(20点) | | 15 | 放課後児童クラブの対象を小学生(全学年)とする法改正に、現場の環境整備が追いつかない現状で、待機児童の存在を看過することはできないため、優先性が高い。 |
| | 優先性が高い(15点) | ○ | | |
| | どちらかと言えば優先性がある(10点) | | | |
| | 優先性が低い(5点) | | | |
| 成果 (目標の達成状況) | きわめて成果があがっている(20点) | ○ | 20 | 放課後児童クラブとプラッツの入室児童は共に増加しており、待機児童解消への成果は充分にあがっているが、冷暖房の整った教室の確保等に配慮を要する。 |
| | 成果があがっている(15点) | | | |
| | どちらかと言えばあがっている(10点) | | | |
| | どちらかと言えばあがっていない(5点) | | | |

| | | | | | |
|--|--------|--------------------|---|----------|--|
| A C T I O N | 総合評価基準 | | 計 | 80/100 | 課 題 |
| | 評価 | 5 きわめて良好である 80点以上 | ○ | 5 | 需要増加に伴う運営スタッフと空き教室の継続的な確保について、工夫・検討を要する。また、一人親世帯や多子世帯の入室数の把握や市の組織強化、夏休み期間の保育需要への対応、入室定員の明確化等への取組が必要。 |
| | | 4 適正である 60~79点 | | | |
| | | 3 おおむね適正である 40~59点 | | | |
| | | 2 問題がある 20~39点 | | | |
| | | 1 不適正である 19点以下 | | | |

決算事業評価結果表

| | | | | |
|------------|-------------------|---|----------|---|
| 評価 | 今後の方向性基準評価(概要欄の○) | | 4 | 決定理由 放課後児童クラブの補完事業という性質から、保育需要の動向を見極め、待機児童を吸収しうる規模のまま継続する。事業継続にあたり、施設面での環境整備を併せて行う必要がある。 |
| | 5 「拡充する」 | | | |
| | 4 「現状のまま継続する」 | ○ | | |
| | 3 「改善・効率化し継続する」 | | | |
| | 2 「見直しのうえ縮小する」 | | | |
| 1 「不適正である」 | | | | |

| 事業名称 | 議会評価 | | 特定理由(今後の事業展開) |
|-------------|----------|----------|---|
| | 総合評価 | 今後の方向性 | |
| こどもプラッツ推進事業 | 5 | 4 | プラッツは、子どもの安全を守り安心して過ごせる居場所であるだけでなく、より充足した時間が過ごせる場所となるよう、活動内容の充実やスタッフのスキルアップを図りたい。また、各プラッツで施設設備や活動内容に格差を生じることのないよう配慮が必要であり、プラッツ間の連携を図ることで情報の共有や業務改善、スタッフのモチベーションの向上等に寄与するものと期待する。加えて、質の高いスタッフの確保へ向け、賃金等の処遇についても検討されたい。尚、事業にあたっては、放課後児童クラブの補完という根本的な姿勢を崩すことのないよう要望する。 |